

**入場
無料**

展示構成

- 三島由紀夫『薔薇刑 作品32』1961年〔写真作品〕
- 三島由紀夫の書籍や三島を特集した雑誌・映画（DVD）など《本阿弥清コレクションより》



三島由紀夫と

天人五衰展

三島由紀夫の絶筆小説「豊饒の海」の第4巻『天人五衰』は、主人公(安永 透)が静岡市(旧由比町)出身で、三保半島も舞台の一つとして描かれています。そして、三島由紀夫の作品『近代能楽集』『英霊の声』『金閣寺』『豊饒の海』などには、能楽の「複式夢幻能」の表現方法が活かされているともいわれています。世界遺産となった「富士山」と能「羽衣」でも有名な構成資産「三保松原」は、三島由紀夫にとっても、重要な意味を持つ場所といえます。11月25日(2020年)は、三島が遺作『天人五衰』の原稿を担当編集者に渡し、東京の自衛隊市ヶ谷駐屯地で自決した日にあたり今年で丸50年です。ちなみに、2012年に一般公開された映画『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』(監督:若松孝二)は、静岡市役所本館(設計:中村興資平)のエントランス車寄せ屋上を、市ヶ谷駐屯地のペランダに見立てて撮影が行われました。

三島由紀夫関連トークショー

『三保松原と「豊饒の海」』 **無料**

- 安藤礼二(多摩美術大学教授)
- 小二田誠二(静岡大学教授)

『三島由紀夫の世界観』

- 井上隆史(白百合女子大学教授)
- 渡辺真也(映画監督)

2020年11月22日(日) 午後1時~4時(3時間)
会場:「みほしるべ」会議室(定員25名)※要申込
申込みは電話で静岡市コールセンターへ
TEL 054-200-4894【10/21(水)より先着順】
※新型コロナウイルスの影響により内容を変更する場合があります。
イベントの最新情報はみほしるべ公式サイトでご確認ください。



『11.25自決の日』2012年(若松孝二監督)若松プロダクション

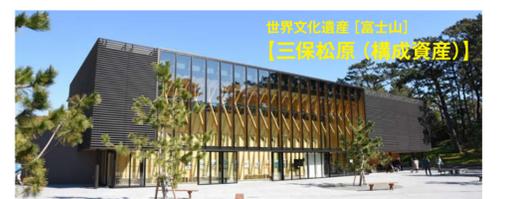
展覧会・提携上映会 有料

『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』

(2012年、119分カラー作品。監督:若松孝二、主演:井浦新)
2020年11月21日(土)~28日(土) 11時、15時、19時 ※1日3回上映
入場料:1,000円、前売券 900円 主催:清水映画祭運営委員会
会場:「夢町座」清水駅前銀座 お問い合わせ:TEL 054-366-5903



アクセス
【JR】静岡駅から清水駅まで電車で約13分。清水駅から三保方面行きバス約25分。「三保松原入口」下車、徒歩約15分。
【静岡鉄道】新清水駅から三保方面行きバス約20分。「三保松原入口」下車徒歩約15分。
【車】清水ICから約25分、静岡ICから約35分。日本平久能山スマートICから約25分。(駐車場173台)



〒424-0901 静岡県静岡市清水区三保1338-45
電話/054-340-2100(9:00~16:30)
開館時間/9:00~16:30
休館日/無休 入場無料
mihoshibe@city.shizuoka.lg.jp
https://miho-no-matsubara.jp/
※「みほしるべ」は、世界遺産「富士山」の「三保松原」(羽衣の松)に近接してあります。



2020(令和2)年 **無休**
10/10[土] → 11/29[日]
開館時間 9:00~16:30
静岡市三保松原文化創造センター《みほしるべ》
主催:静岡市三保松原文化創造センター
監修:本阿弥清(美術評論家連盟会員)
協力:山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・細江英公写真美術研究所・藤田三男編集事務所